

400年以上の伝統を受け継ぎ、 寝具の大事さ、大切さを発信

西川産業社長 西川 八一行氏

本誌 西川産業は室町時代創業の老舗メーカーですね。

西川 当社は初代西川仁右衛門が一九歳のときに近江で商売を始めた永禄九年（一五六六年）を「創業の年」と定めていますので、今年で創業四四五年になります。初代仁右衛門は近江商人らしく、四人の息子を連れて蚊帳や生活必需品を売りさばっていたようですが、その後、江戸時代の近江蚊帳の考案、販売や弓間屋買収による弓の販売で発展、明治二〇年前後に「ふとん」を販売アイテムに加え、経営を拡大し現在に至っています。当社の設立は一九四七年で、寝具、寝装品、インテリア用品、ベビー用品、タオル、リラックスイアなどの製造卸、小売を行い、二〇一〇年一月の売上高は三六四億円、社員数は契約社員を含め一〇〇〇名近くになっています。

本誌 江戸時代に現在のボーナスにあたる「三ツ割銀制度」を制定していたそうですね。

西川 当時としては類を見ない画期的なシステムで、寛政元年（一七八九年）以降、年二回の決算を終えると売上げから運転資金や原材料費などを除いた純益の三分の一を従業員

員に分配、従業員の忠誠心をあげ、売上向上に貢献しました。また、西川家は江戸時代初期から既に計数管理による経営を行っており、現存する「最古の勘定帳」といわれる寛文七年（一六六七）の勘定帳も残っています。

誠実・親切を通して、 共栄を実現

本誌 社是を現代風にアレンジし、経営理念としていますね。

西川 四〇〇年以上の歴史の中で、良いものは引継いでいかなければなりません。社名やブランド力に安住し伝統の上に胡座をかいて新しくなることを止めれば陳腐化するだけです。社長に就任した時に、歴史があつて今がある、伝統をしっかりと学ぼうと考え、社是である「誠実・親切・共栄」を噛み砕いて、「社会への貢献を認識して、世界的な基準や手法を取り入れ、プロとしての誇りを持つ」と、「エンドユーザー第一主義を認識して、会社の論理をすてエンドユーザーの笑顔のために働く」と、「お取引先との相互発展を認識して、双方の役割と責任を明確にした提案中心の営業活動をしよう」と社

内協力の重要性を認識して、気さくでまじめな話し合いとルールが基盤となった透明でオープンな社風をつくりあげよう」の四つにまとめました。理念そのものは時に左右されませんが、老舗としての良い面を本質を変えずに表現しました。この四つはどれも欠けても商売はうまくいきません。共栄の実現は人間性の尊重を基本とした人間関係の中で、誠実・親切を通してのみできるものと考えています。社是を再認識し、自分自身のものにするために、社員全員がこの経営理念をカードにして持っています。

本誌 今年八月に新しいスタイルの枕のオーダーショップ「PILLOW Y Cafe」（ピロウウィーカフェ）を東武百貨店の東京・池袋店にオープンしました。

西川 このピロウウィーカフェは好きな枕素材、枕カバーの色、好きな香りを選び、自分にぴったりのオリジナル枕をその場で簡単に作れる店舗です。枕の組み合わせは一〇〇種類以上になり、スタッフが顧客の悩みや要望を聞き、高さの微調整も行い、最適な枕にしてくれます。同店舗は顧客のニーズに合致、絶大



西川 康行 <通称・八一行>
(にしかわ・やすゆき) 氏

1967年9月、東京都生まれ。1990年・早稲田大学法学部卒業。同年・住友銀行（現三井住友銀行）入社。1995年・西川産業入社。1996年・取締役。1998年・常務取締役。1999年・専務取締役。2000年・代表取締役副社長。2006年・代表取締役社長就任。

いと思います。

環境で女性が暖かく、快適に働けるよう、機能とファッション性を融合したオフィススタイルを全国の百貨店の店頭を中心に提案するものです。高機能素材の衣類や部分保温に役立つ服飾雑貨などを複合的に活用しており、当社では保温性抜群の羽毛を使用したポータブルケットや発熱素材・サーモギア使用のひざ掛け、お腹に暖かいジェルを入れたブードル型湯たんぽなどを展開します。

本誌 東日本大震災により寝具の重要性が再認識されましたが、

西川 当社では東日本大震災の被災者に数万枚の毛布などの寄付を行いました。寝具が生活に絶対不可欠なインフラであることを改めて認識しました。良質の寝具を適正な価格で安定して供給することが当社の大きな使命であり、今後もできる限り多くの人々に快適な睡眠のできる寝具を提供し続けていきます。自分や家族の健康を考えた時、睡眠は非常に大切なことなのですが、寝具への関心は薄く、購入に対する優先順位が低いのが現状です。これを高めるためにも寝具の大事さ、大切さを発信し、眠りの持つパワーを訴えたいと思います。

な支持を得ています。消費者ニーズはますます幅広くなっていますので、寝具に関しても体重や身長、体型、男女別などの違いに価格的な要素を適切に組み合わせた提案をさらに進め、ユーザーニーズに的確に対応したいと思っています。

日本睡眠科学研究 所を社内に併設

本誌 日本睡眠科学研究所を社内に併設していますね。

西川 当社は「健康は睡眠から、快適な睡眠を提供するのが寝具業界の使命である」と考え、より健康で

快適な睡眠環境を探索するとともに、人間の睡眠生理に関する研究に取り組むことを目的に日本睡眠科学研究所を一九八四年に設立しました。快適な寝室環境や寝床内環境、機能寝具の研究とともに、睡眠が何をもちあわせてくれるかを科学的にアプローチしており、睡眠と免疫力や記憶などとの関連性の研究を大学教授などと共同で取り組んでいます。とくに、スポーツ選手と睡眠の研究は注目を集めています。これまでスポーツ選手は食べることやトレーニングに力を注ぎ、眠ることに無頓着でしたが、睡眠も成績に大きな影響を与えてい

るので。当社は元読売巨人軍の王貞治氏が現役であった時、同氏の協力を得て研究をスタート、現在では巨人軍の坂本勇人選手や女子プロゴルファーの有村智恵選手などの協力を得て研究を行い、さまざまな商品を開発しています。

本誌 ナイガイ、ワコールとこの冬に「ECO de OFFICE（エコ・デ・オフィス）」推進キャンペーンを展開しますが。

西川 エコ・デ・オフィスは国が提唱するウォームビズの一環として、経済産業省の後援、環境省の協力のもと、過度な暖房に頼らないオフィ